



【実りと活力創造学部】

事業実施報告書【有害鳥獣駆除の後継者育成__捕獲技術習得プログラム】

- 日 時: 令和元年11月9日(土) 14:00~16:00頃
- 場 所: 千代田地域づくりセンター 大会議室 及び 庁舎駐車場
- 参加人数: 8名
- 内 容:

①講座のねらい

野生鳥獣による農作物の被害は年々増加しており、農家の生産意欲の低下や収入減をもたらしている。野生鳥獣の捕獲や被害対策を実施するには、法令の順守や鳥獣に対する正しい知識が必要であり、きたひろ学び塾ではこれらの対策を実施するための基本的な知識を取得するための講座を開催し、狩猟免許の取得を目指すとともに、地域で活動する被害対策の担い手を育成する。

講座3回目は、狩猟免許取得者を対象とした箱わな等の捕獲技術の養成と基礎知識の習得を目的として開催し、屋内講義に加え屋外の実地研修を実施する。

②講座「捕獲技術習得」

○箱わな、くくりわなの基礎知識、捕獲後の処理方法

講師: 豊田 富雄(広島県猟友会 狩猟アドバイザー)

- ・わなの基礎知識、わなの作動に関する注意点、設置場所の選定、わなの設置方法、毎日の見回りの徹底
- ・捕獲動物の止めさし方法、その他注意点、捕獲後の解体技術、作業方法

【講習のポイント】

- ・プロジェクターによる解説が中心、資料も同内容で配布
- ・わな設置の基礎知識を中心に説明
- ・一部動画にて解体技術の解説を行う
- ・講師の配慮でくくりわなの展示を行う

【コメント】

- ・わな設置に関する基礎的な内容であったが参加者の多くは技術的な内容を期待していた
- ・捕獲後の処理についての説明を期待していたが解体に関する内容が多岐的外れであった
- ・くくりわなについては、北広島町は狩猟での使用が禁止されており、有害捕獲でも積極的な推奨をしていないため、くくりわなの展示は控えるべきであった
- ・くくりわなを展示したにも関わらず説明がなされなかった(結果的には説明されずよかった)
- ・講師の声が聞き取りにくい 滑舌が悪い
- ・講習会の案内が充分でなく参加者からクレームがあり閉庁日の案内を徹底すべきであった

○箱わなの仕掛け講習(屋外駐車場において実習)

講習助手: 山田 秀登(千代田猟友会会長)

- ・箱わなの仕掛け、設置場所、餌付け、安全な作業確保、
- ・箱わなの種類(新機種の説明)、センサー捕獲機の説明と実演

【講習のポイント】

- ・実施隊員(捕獲班員)として従事している千代田猟友会の山田会長へ講師を依頼した(講師助手)
- ・これまでの講座は何れも屋内での講座ばかりであったため、今回屋外での研修を試みた
- ・箱わなの設置場所や仕掛けについて実演
- ・新しく導入した箱わなと既存の箱わな2種類の展示と説明を行う
- ・仕掛けの代用となるセンサー式捕獲機の説明を行う

【コメント】

- ・実際に捕獲に従事している捕獲班員の研修は効果的であった
- ・仕掛けのポイントや管理方法など詳しい説明が聞けた
- ・箱わなの取り扱い(組み立て)やセンサーの使用実演はまずまずの出来
- ・講座形式でなく対面による説明がポイント 参加者と講師の距離が近づきいろいろな意見が出た
- ・天候を心配し屋外の研修を駐車場の芝生の上で行ったことは無難であったが参加者は期待外れ

【感想】

- ・わなの実際のかけ方が知りたい(実際の設置現場での実演を検討)
- ・安全にしたいので、気をつける点が知りたい(基礎講座は必要である)
- ・イノシシ、シカの生息数を減らしたい(そのために講座を企画している)
- ・捕獲後の止めさしや処理方法などの解説で、講師がグループでの実施に言及したが、一人で行う方法を教えるのが講座であるとの強い意見をいただいた。危険を伴う作業であることを理解してほしい
- ・捕獲は試みるが処分(止めさし)はできない(よーやらん)との意見への対応

【写真】

